

# 卒業生へのブックリスト



～卒業・修了おめでとうございます！～

これから世界に旅立つ皆さんに、社会に出る前に読んでほしい本、  
20代までに読んでほしい本などを先生方に選んでいただき、  
ブックリストにまとめました。  
ぜひ、今後の読書にお役立て下さい。

2011.1

## ブックリストにご協力頂いた先生方

### 知能情報工学研究系

- 下齒真一先生

### 電子情報工学研究系

- 小田部荘司先生
- 藤原暁宏先生

### システム創成情報工学研究系

- 藤尾光彦先生

### 機械情報工学研究系

- 伊藤高廣先生
- 高橋公也先生

### 生命情報工学研究系

- 安永卓生先生
- 坂本順司先生
- 前田衣織先生

### 人間科学系

- 石橋邦俊先生
- 栗原好郎先生
- 中川勝昭先生
- 西野和典先生

### 情報創成工学研究系

- 大石英貴先生



ご協力頂いた先生方に感謝  
を申し上げます。

### 下 藪真一先生(知能)のおすすめ

◆『ギリシャ悲劇Ⅰ ソポクレス』ソポクレス 作・松平 千秋 やく 筑摩書房 (本館所蔵)

ソポクレスとその作品が世界史、文学、ドラマ演劇、哲学など、今でも幅広く引用され議論される人類の財産であるというのはもちろんのこと、本書は純粋にギリシャ神話の入門書としても適している。たとえば、注釈がその見開きにあるのである。

西洋神話ものがたり集では物足りなく、ホメロスの叙事詩を読む自信もなく、かといって村上春樹とか吉本ばななで時間をつぶす気にもなれなかった大学生時代に、ついつい手に取ってしまった書。

本書やアイスキュロス、エウリピデスを読んだ後でなら、アリストパネスの喜劇「蛙」の悲劇パロディで、二千年以上前の人々とおなじく腹を抱えて笑えるのである



### 小田部 荘司先生(電子)のおすすめ

◆『日本の神話』(全6巻) 赤羽末吉 絵 舟崎克彦 文

伊邪那岐(イザナギ)と伊邪那美(イザナミ)の「くにのはじまり」、天照大御神(アマテラスオオミカミ)が天の岩戸に身を隠す「あまのいわと」、須佐之男(スサノオ)の、「やまたのおろち」、大国主(オオクニヌシ)の「いなばのしろうさぎ」、「すさのおとおおくにぬし」、「うみさちやまさち」の全6巻です。赤羽末吉画伯の現地取材と資料調査を踏まえ、考証を尽くした、上品で、すがすがしい絵本です。ある日、新聞のコラムで、日本の古事記が20年前、ポーランド語に翻訳され、あまりの面白さに1万部も売れたという記事を読みました。外国の人がそんなに面白がる話を、日本の子どもたちに読ませたいと思っていたところ、この本に出会いました。

まもなく、小学校で読み聞かせが始まったので、取り上げましたら、大変好評です。宇佐市は神楽が盛んな所ですから、舞をただ見物するだけではなく、内容を知っているのはまた違った楽しみでしょう。ここまでは宇佐市在住の私

の母が書いた推薦文です。古事記は不幸なことに読まれなくなってしまった歴史があります。絵本で読まれてもいいですし、文庫本で読まれてもいいと思います。外国の方とお話するときにもまた楽しみが増えます。さらに上級者は万葉集を楽しまれるようですが、まだ私はそこまで至っていません。近いうちには読みたいと思っております。

#### 藤原暁宏先生(電子)のおすすめ

◆『うらおもて人生録』 色川武大著 新潮社 (914.6||I-45)

20代に「生きていくための技術」を学んだ本です

◆『この世でいちばん大事な「カネ」の話』 西原理恵子著 理論社 (159.7||S-4)

さらっと読める本ですが、人生におけるお金の大切さを少しは理解できるでしょう

#### 藤尾光彦先生(システム創成)のおすすめ

◆『坂の上の雲』 司馬遼太郎著 文藝春秋 (913.6||S-30||1~6)

若かった頃のひたむきな日本が描かれています。

◆『連続群論(上・下)』 ポントリヤーギン 岩波書店 (415.4 || P-2)

学生のとき助手の先生から、読みにくいと脅されていましたが、必要があって「被覆空間」の箇所だけ読みました。抽象的な概念が、一步、一步目に見えるように構成されていく記述に感動した覚えがあります。文学と同様に数学もロシア人のもの(アーノルド「古典力学の数学的方法」など)は重厚です。けれども、じっくり読むことを厭わなければ、決して難解というわけではありません。名著と呼ばれるものは読むべきである、と実感した一冊です。ポントリヤーギンが失明していたことは後になって知りました。

### 伊藤高廣先生(機械)のおすすめ

- ◆『時刻表2万キロ』 宮脇俊三著 河出書房新社  
鉄道紀行文学の傑作。ほのぼのとした時おすすめ。
- ◆『ドイツ鉄道旅物語』 野田隆/横溝英一著 東京書籍  
ドイツ鉄道書の傑作。ヨーロッパに出かける前に読みましょう。
- ◆『理科系の作文技術』 木下是雄著 中公新書 (407||K-3)  
仕事をする人必読の書。必ず役に立つ。
- ◆『蒸気機関車』 石井幸孝著 中公新書 (本館所蔵)  
SL解説書の傑作。黒岩氏の図もすばらしい。
- ◆『効果的プログラム開発技法(第2版)』 国友義久著 近代科学社  
(549.9||K-2)  
プログラム開発の最重要ポイントを知ることができる。システム開発者必読の書。
- ◆『ケミカルビジネス英会話』 藤井貞二著 駸々堂  
技術英会話の要点をコンパクトにまとめてある。実戦で役に立つ。



### 高橋公也先生(機械)のおすすめ

- ◆『物理学とは何だろうか(上・下)』 朝永振一郎著 岩波書店  
(081||I-1||85, 081||I-1||86)  
科学の本質とその発展を深く知るには最も最適な本。  
産業革命において技術と科学がどのように関連しながら発展してきたかを知ることが出来る。
- ◆『ある気象学者の一生』 藤田哲也著 (451||F-1||A)他  
九工大(明専)出身でアメリカに渡り竜巻の研究をした世界的な気象学者の自伝



### 安永卓生先生(生命)のおすすめ

#### ◆『理科系の作文技術』 木下是雄著 中公新書 (407||K-3)

理科系として生きていく上で必要な作文技術・スキルに関する本です。学生時代は逃げるのができても、社会人として必須の技術です。物理学者としても超一流だった著者がある時期から、コミュニケーション技術に関する作家へと転身した際の名著です。これ以外に、理科系のための英文作法、レポートの組み立て方、日本語の思考法などいずれも読み応えがあります。卒論／修論等のまとめにも重要です。

#### ◆『マサチューセッツ工科大学』

フレッド・ハプグッド著 新潮社 (377.2||H-8)

工科大学で学ぶこと、工学とは何かをMITの歴史とともに考えることができる書。改めて、自分自身がいる、九州工業大学という大学の置かれているポジション、教育に関して考え直すことができます。卒業後も、皆さん自身に期待されていること、社会からの目、期待などに思いをはせることができます。



### 坂本順司先生(生命)のおすすめ

#### ◆『繁栄(上・下)』 マット・リドレー著 早川書房 (331||R-2)

原題が「理性的な楽観主義者」にあたる洋書の訳本で、不況下でも人々とくに技術系に元気を与える2巻本。生命科学分野のサイエンスライターとして著名な英国人マット・リドレーが、生物学に関する深い造詣と科学技術全般に対する幅広い知識に基づいて著した最新の刊行本。人類の歴史が「交換と専門化」に基づく「集団的知性」によって進んできたとする考察をもとに、近未来にも世界は発展を続けるだろうことを確信させ、明るい自信を回復させる。根本的には暖かくリベラルな考え方を基盤にしているが、平和・環境・気候・資源・エネルギー・疾病・アフリカ・自由主義・企業活動などに関して流布するリベラル風の悲観主義的言説が根拠薄弱で偏ってい

ることを暴露する。人類の行く末を広い視野から公平に見通すには、生物学的考え方が有効であることも感じ取れる。

◆『文明の生態史観』梅棹忠夫著 中央公論新社 (361.6||U-1)

世界史を概括的にとらえ、日本および日本人の自己認識を確立するのに好適の書。生物学から人類学に転向し、深い学識に基づく独創的な思索で幅広い分野に影響を与え、大阪・千里の国立民族学博物館館長を長く務め、2010年に亡くなった碩学 梅棹忠夫が、生態学的考え方を人類文明の歴史に適用し、当時の言論界に強いインパクトを与えた一連の論考を集めた書物。インド・中国・ロシアの台頭や、キリスト教 vs イスラム教の「文明の衝突」など、最近の事象を理解するのにも有効な思考の枠組みを与える現代的古典。日本人が自虐的にも夜郎自大にも陥らず紳士的な誇りを保ち、バランスのとれた感覚を養って世界を冷静に眺めるのにも役立つ。

前田 衣織先生(生命)のおすすめ

◆『家族になった10頭のクマ』宮沢正義著 角川学芸出版

最近のクマに関する報道と合わせ、「人間社会と自然」ということについて考えさせられました。

◆『美智子さま「こころの旅路」』渡辺 みどり著 新潮文庫

美智子さまの女性としての生き方に感銘を受けました。このような女性に一步でも近づきたい、と心から思える本でした。

石橋邦俊先生(人間科学)のおすすめ

◆『お伽草子』太宰治著 (081 || I-4-3 || 90-6)

辞世の川柳を残して出撃した特攻隊員がいたそうです。太宰が、太平洋戦争末期、空襲警報のなる東京と甲府で書き継いだこの作品は、苦し

い状況下で彼が研ぎ澄ました、ユーモアと想像力を伝えてくれると思います。

- ◆『楽は堂に満ちて』 朝比奈隆著 音楽之友社 (762.1||A-1)
- ◆『厄除け詩集』 井伏鱒二著 筑摩書房 (911.1||I-1)
- ◆『私の中の流星群』 草野心平著 筑摩書房 (914.6||K-8)
- ◆『孔子伝』 白川静著 ※『白川静著作集 6』(222||S-3||6)に収録
- ◆『天に送る手紙』 森敦著 小学館 (914.6||M-35)
- ◆『戦艦大和ノ最期』 吉田満著 講談社 (916||Y-18)
- ◆『古詩選』(新訂中国古典選 13) 朝日新聞社 (本館所蔵)
- ◆『荘子』(新訂中国古典選 8,9) 朝日新聞社 (本館所蔵)



#### 栗原 好郎先生(人間科学)のおすすめ

- ◆『蘭学事始』 杉田玄白著 岩波書店 (081||I-4-1||20-1)
- ◆『冬の鷹』 吉村昭著 新潮社 (吉村昭自選作品集:第10巻 本館所蔵)

杉田玄白著『蘭学事始』(岩波文庫)には、『ターヘル・アナトミア』というオランダ語で書かれた医学書を『解体新書』として訳出した杉田玄白らの苦闘の歴史が描かれている。前野良沢以外はほとんどオランダ語の知識がなかった4人が、わずか2年間で不十分ながら訳業を終えることが出来たことに読者は驚き、勇気付けられる。彼らをそこまで駆り立てたものは何だったのか。玄白は当初、オランダ語のA,B,Cも知らなかったというから驚きだ。良沢にしても、せいぜい中学生程度のオランダ語の知識しかなかったわけだから、この画期的な事業が困難を極めたものだったことは想像するに難くない。こうした先覚者の格闘する姿を想像するだけで、われわれは熱を帯びてくる。しかし、『解体新書』の訳者には前野良沢の名は記されていない。なぜか。その謎には、吉村昭著『冬の鷹』(新潮文庫)がひとつの解釈を与えてくれる。吉村氏の本は、学究肌の妥協を許さぬ理想主義者である良沢と、柔軟な思考を持ち処



世の術にも長けた玄白を、科学的とも言える実証主義的筆致で対照的に描いていて、一気に読める歴史小説だ。今回紹介した2冊は、きっと君達の座右の書となるだろう。まずは一読を。

#### 中川勝昭先生(人間科学)のおすすめ

- ◆『解説！アルキメデス写本』 リヴィエル・ネッツ／ウィリアム・ノエル著 光文社 (410.2 || N-3)
- ◆『アンティキテラ 古代ギリシアのコンピュータ』 ジョー・マーチャント著 文藝春秋 (502||M-2)

どちらも現代の画像撮影・処理技術が、古代ギリシアの科学を蘇らせる物語。前者は、一度削られて別の文書が上書きされたアルキメデスの写本の解説が、後者は、歯車のついた古代ギリシアの機械の復元が扱われている。あらゆる手を尽くして元の姿を再現しようという男たちの熱意に惹きつけられてしまう。どちらも古代ギリシアの科学の格好の入門書でもある

#### 西野和典先生(人間科学)のおすすめ

- ◆『映画でなぞるアメリカ史』 吉浦 潤次著 (778.2||Y-4)

アメリカ史を映画で説明しています。

アメリカの西方への拡大、南北戦争、奴隷問題、ネイティブアメリカンの行方などが、わかりやすく映画で説明されています。

これまで観たいいくつかのアメリカ映画が、この本を読むと、アメリカ史の観点から解釈できるようになります。

映画を観た当時、理解できなかった映画の時代設定や、ストーリーの隠された意味がわかり、もう一度、映画を鑑賞し直したくなります。興味深いおすすめの本です。

## 大石英貴先生(情報創成)のおすすめ

◆『富の未来(上)(下)』 トフラー, アルビン・トフラー, ハイジ著 講談社 (304||A-9||1, 304||A-9||2)

これからはITを使って消費者が企業の代わりに生産活動も行う、生産消費社会になります。さらに、消費者同士で無償で交換する非金銭経済も大きくなっています。IT の与える社会への影響について、歴史的な認識も踏まえた視点を備えた良書です。

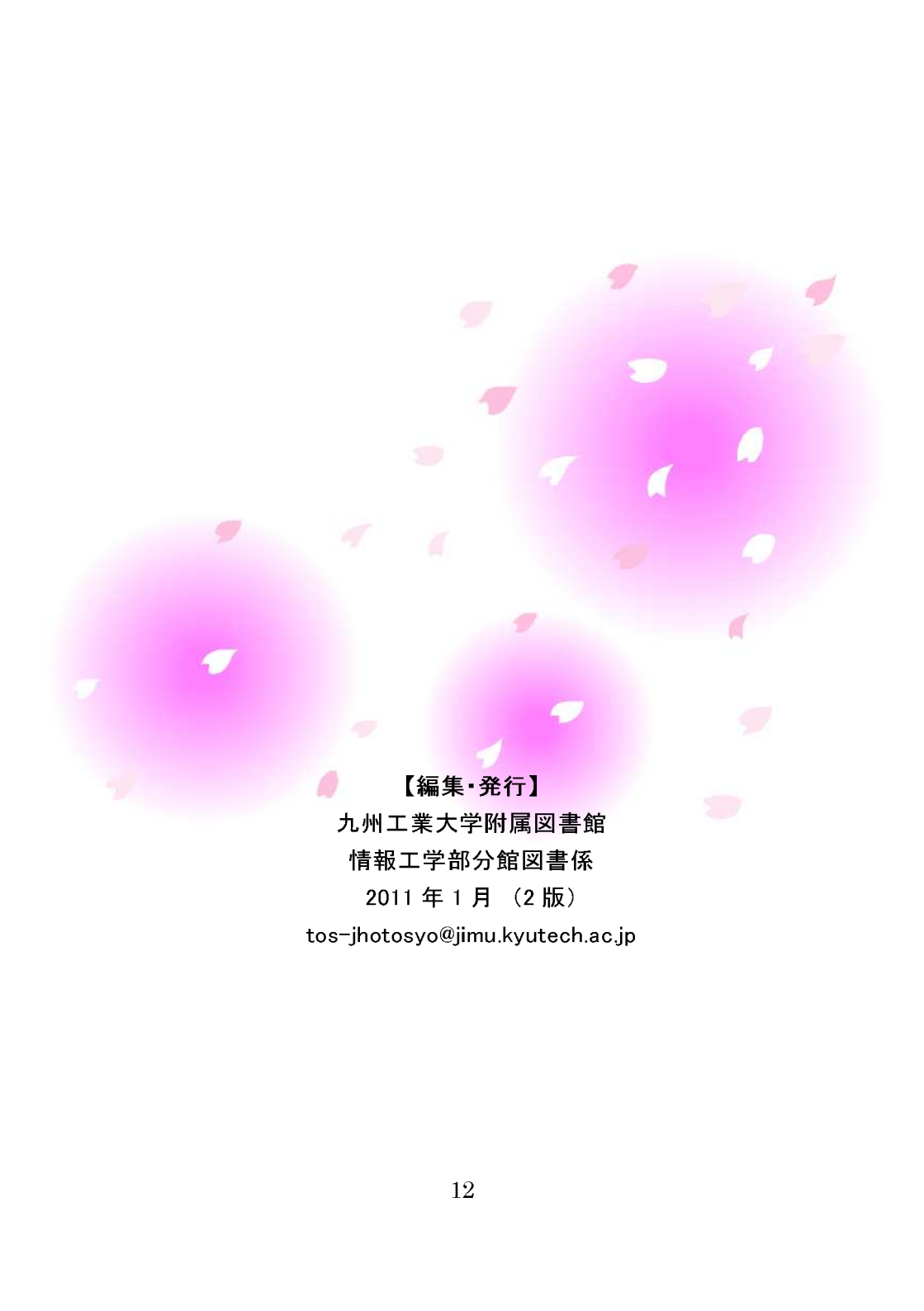
◆『資本主義と自由』 ミルトン・フリードマン著 日経 BP 社 (332||F-2)

金融危機に対する過剰な反応として自由主義が批判されています。しかし反動として規制の多い社会を選ぶことは愚かです。それを 40 年以上前に論じたフリードマンは何度読んでも目からうろこが落ちます。政府が手を出す必要のないことを具体的に列挙して、読みやすい上に奥も深い良書です。





**これからも素敵な本と出会って下さい。**



【編集・発行】

九州工業大学附属図書館

情報工学部分館図書係

2011年1月（2版）

[tos-jphotosyo@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:tos-jphotosyo@jimu.kyutech.ac.jp)